

カリキュラム一覧

専門分野別研修 ①乳児保育

* 修了証の交付を受けるためには、すべての研修を受講する必要があります。



No.	テーマ	内容	講師名	日時	会場
1	乳児保育の意義と発達に応じた保育内容	乳児保育は乳児期の発達特性を理解し、一人ひとりの子どもの姿や思いをくみ取り、理解することが大切です。0・1・2歳児の発達特性と保育の課題を整理し、「自分でできる喜びを育てる」生活づくりや環境づくり、遊びなどを大切に乳児期の保育について学びましょう。	長瀬美子 大阪大谷大学	8月26日(金) 13:30-18:00	
2	主体性と意欲を育てる乳児保育とは	家庭での養育が益々大変になる中、就学前に人への愛着・信頼を育むことが保育の重要課題になっています。0・1・2歳児それぞれの子どもに育てほしい力とは何でしょうか。そのために乳児期に大切にしたいことを育児担当保育の実践から学びましょう。	樋口正春 保育創造セミナー	9月9日(金) 13:30-18:00	たかつガーデン たかつ全室 (8階)
3	乳児保育の実践と記録	子どもの育ちを丁寧にとらえ、実態や育ちを理解する中で保育課題が明確になってきます。園ではどのような子ども像をあげられているでしょうか。子ども主体の乳児保育を実践するためのねらいや、生活・遊びの内容・記録・評価など保育の質を高める指導計画について、事例やワークを通して学びましょう。	瀧 薫 城東よつば こども園	10月24日(月) 13:30-18:00	
4	子どもの自己肯定感を育む乳児保育	保育指針で3歳未満児の子どもへの育ちが非常に重要視される中、育ちを担う保育者の役割は益々大切になってきています。子どもの行動に込められた願いや要求をつかみ、乳児期の愛着形成や自己肯定感の育ちを子どもの視点に立って学び、子どもへの関わりや保育内容に生かしましょう。	阿部和子 大阪総合保育大学	11月15日(火) 13:30-18:00	エル・おおさか 南館(5階) 南ホール

専門分野別研修 ②幼児教育

* 修了証の交付を受けるためには、すべての研修を受講する必要があります。



No.	テーマ	内容	講師名	日時	会場
1	《遊びを保育の中心に》 保・幼・こ・小接続の「いま」と「これから」 ～子どもたちが明日を 楽しみに学校へ～	子どもたちの小学校生活への円滑な移行のための取り組みが進められてきています。遊びを中心とした保育活動を通して育つ「自己肯定感」「人と関わる力」「好奇心」「目標に向かって頑張る力」など、学びに向かう力を児童期の教育にスムーズにつないでいくための接続について学びましょう。	大方美香 大阪総合保育大学	6月6日(月) 13:30-16:45	
2	《遊びを保育の中心に》 子どもの主体性を大切に した環境づくり	3法令の改訂により、小学校との連続性として主体的・対話的で深い学びの保育・教育が求められています。子どもが自発的に興味関心を広げ、ワクワクしながら遊び、子ども同士やりとりしながら遊びこむには「遊び」のとらえ方とそのため環境づくりが必要です。「遊びと環境づくり」について学びましょう。	瀧川光治 大阪総合保育大学	7月20日(水) 13:30-16:45	たかつガーデン たかつ東中 (8階)
3	《遊びを保育の中心に》 子ども理解と大切にしたい 遊びとは	非認知的能力は豊かな遊びを通して育まれるといわれています。子どもがヒト・モノ・コトに主体的に関わる中でわきおこる「おもしろい」「たのしい」「もったいたい」などの感情が、意欲や工夫・思考力につながっていきます。このような子どもの姿を理解し支援するには、複数の保育者の多様な目で読み取ることが大切です。子ども理解と深い学びにつながる遊びの質について学びましょう。	中橋美穂 大阪教育大学	8月24日(水) 13:30-16:45	
4	《遊びを保育の中心に》 遊びを中心とした指導計画 と子ども理解に基づいた記 録・評価	一人ひとりの子どもの姿を丁寧にとらえ、子どもを理解する中で、保育・教育課題が見えてきます。保育者は実践記録を基に子どもが抱えている課題や遊びを読み解き、援助や遊び、活動にどうつなげていけばよいのでしょうか。子ども理解に基づいた記録・評価など、保育・教育において大切なことは何かを学びましょう。	中橋美穂 大阪教育大学	9月8日(木) 13:30-18:00	たかつガーデン たかつ全室 (8階)
5	《遊びを保育の中心に》 遊びは学び ～子ども主体の保育実践 から学ぶ～	幼児期の学びは豊かな遊びから育まれるといわれます。子どもが何に興味あるのか、子どもに問いかけながら大人は環境(ヒト・モノ・コト)を整え、子どもの表現を信じ、新しい発想が生まれるサポートをします。教えこむのではなく、子どもから引き出す教育として、プロジェクト型教育に取り組んでおられる園の実践から学びましょう。	今川公平 木の実幼稚園	11月2日(水) 13:30-16:30	たかつガーデン たかつ東中 (8階)

専門分野別研修 ③障がい児保育

* 修了証の交付を受けるためには、すべての研修を受講する必要があります。



No.	テーマ	内容	講師名	日時	会場
1	発達障がいやそう思われる子どもへの対応と保護者への具体的な手立て	発達障害もしくはそう思われる子どもたちの行動の理解と対応について学びます。保育の場で見られる具体例を挙げて、子どもと保育者が気持ちを寄せあうことができる手立てをお伝えします。	野藤弘幸 クローバー 自立支援センター しまもと	6月7日(火) 13:30-16:45	たかつガーデン たかつ全室 (8階)
2	一人ひとりの障がいを理解し、適切な支援を学ぶ① ～困っている 子どもへの支援～	子どもが何に困っているかに気づくことが支援の第一歩だといわれています。子ども一人ひとりの違いを受けとめ、障がいのある子と共に育つ保育・教育を実現していくには、保育者はどのように子どもを理解し、関わればよいでしょうか。社会性やコミュニケーション、こだわりなど、それぞれの支援のポイントについて学び、一人ひとりに必要な環境、遊び、生活の具体的な手立てを通して自尊感情を育む支援計画の立案について演習を通して学びましょう。	伊丹昌一 梅花女子大学	8月16日(火) 13:30-18:00	
3	仲間と共に育ちあう保育・教育とは	子ども一人ひとりの違いを受けとめ、障がいのある子と共に育つ保育・教育を実現していくには、保育者はどのように子どもを理解し、関わればよいのでしょうか。園内で「子ども理解」を深め、チームで共に育ちあうための手立てを実践報告やワークを通して学びあひましょう。	棚田純子 ちやいんどネット 大阪 実践報告者	9月20日(火) 13:30-16:45	大阪府社会 福祉会館401 (4階)
4	一人ひとりの障がいを理解し、適切な支援を学ぶ② ～保護者や家族に対する 理解と支援～	障がいのある子どもの保護者は、赤ちゃんの時から育てにくさを感じ、一人で悩みを抱えている人も少なくありません。保護者の気持ちに寄り添い、信頼関係を築くとともに、保護者の子ども理解をすすめる、親子の良い関係を育むために、園としてどのような支援が必要でしょうか。小学校をはじめ、関係機関との連携はどうでしょうか。保護者や家族の支援のあり方について演習などを通して学びましょう。	伊丹昌一 梅花女子大学	10月3日(月) 13:30-16:45	大阪府社会 福祉会館501 (5階)
5	発達障がいのある子どもの支援と保育者の関わり	発達障がいと思われる子どもたちは園において何に困り、どのような支援を必要としているのでしょうか。具体的な事例から子どもの理解と集団の中で他児と共に育ちあえる環境構成や援助について学びましょう。	鶴 宏史 武庫川女子大学	11月7日(月) 13:30-16:45	



★ 施設によっては専用駐車場がございません。
ある場合でも、主催者側で来場者用の駐車場は確保していません。
研修会場へは公共交通機関でお越しいたきますよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。

気象警報発令時及び緊急時における研修の取り扱いについて

- ★ 午前11時の時点で「大雨、暴風、暴風雪、洪水、大雪などの気象警報」が大阪府内に発令されている場合、研修を延期いたします。
- ★ 研修の延期については、当法人のホームページでご確認ください。

<HP : <https://www.childnet.or.jp/>>

